

令和2年度 知多地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：2020年8月25日（火）

午後1時30分から午後3時30分まで

場所：愛知県知多総合庁舎 3階 大会議室

（産業労働計画の進捗管理等）

- ・計画の指標などに対する、今の取組の進捗管理はどうなっているのか。実際に来年から計画が始まるにあたり、商工会議所の日々の取組や仕事の中で、県の施策や考え方とどう照らし合わせていけばよいのか、具体的なイメージが掴めていないため、指導をいただけたらありがたい。
- ・前回の計画の8つの柱から6つの柱になっている理由が、新型コロナの影響なのか知りたい。
- ・骨子を見た印象としては、中小企業の意見を聞く場が不足している感がある。計画はよいものなので、企業の方の目に留まるような工夫ができないだろうか。市町村も一緒に工夫したい。

（新型コロナウイルス感染症の影響による地域の現状と県に求める施策について）

- ・知多地域の事業者の多くを占める観光関連の飲食・宿泊等サービス業にとって、感染防止と経済活動を両立する「新しい生活様式」への対応は、顧客数の減少や回転率の低下を招くものとなる。計画に観光を取り入れていただいたことはありがたいが、「持続可能な受入れ体制」について、具体的に早急に取り組んでいただきたい。ダメージが大きいので、もう一歩踏み込んだ施策を希望する。
- ・過疎が進んでいる地域であり、新型コロナにより企業の存続自体が厳しいと感じている。ただ、幸いなことに大量の廃業もなく、地域内での新型コロナの発生が遅かったため、観光への影響も小さかった。新型コロナの拡大防止と経済活動の両立を図ることが我々の課題である。情報が錯綜しているため、これを契機に、県や市町村がどういう状況なのか、情報がスムーズに伝わる仕組みを作っていただきたい。
- ・観光の事業者が多い地域である。新型コロナの影響で融資や愛知県の休業要請の協力金に関する支援を行い、思いのほか相談が多く寄せられた。目指すべき姿として「地消地産」を支える足腰の強い産業が地域に根付いている」とあるが、現実ではなかなか進まなかった。海産物はたくさんあるが、市場で入札ができなくて魚が売れない。地域産業は相当な影響を受けたため、事業者と共に策を考えなくてはならない。
- ・観光についてはブレーキをかけすぎた面がある。小さな観光事業者向けの施策があるとありがたい。
- ・旅館業が影響を受けている。大小のイベントが中止になった。小規模な小売店が影響を受けている一方、大型の土産物店では来客が多かった。新型コロナと経済の両立が目標と考えられるため、計画では「地域に根ざした計画」と「他地区から流入する観光客を対象とする計画」を分けて立案をお願いしたい。製造業中心の施策になると思われるが、小さな観光地も視野に入れた計画の策定をお願いしたい。
- ・新型コロナの影響により、自然を活かしたまちづくりが見直される中、「地産地消」が重要だと考えている。市町村を支える「農業」、「水産業」、「観光業」、「商工業」の振興に加え、後継者の育成を含めた人づくりも大事である。産官学の連携としては、日本福祉大学の学生と新たな特産品の開発を進め、今後は、運動公園等を活用したスポーツツーリズム等の新規事業への転換につなげていきたい。
- ・計画を検討するにあたり、業界業種別に、新型コロナによりどういう影響が出たのか、緊急対策等の効果はどうだったか、棚卸しが必要ではないか。
- ・幸い、新型コロナの影響で直接廃業したという話は聞いていない。
- ・町単独の新型コロナ対策事業を実施したが、PR不足なのか事業者の頑張りか分析はできていないが、

思ったほど執行されていない。

- ・新型コロナでは、特に飲食業や観光業を中心に大きな影響を受けたと聞くが、詳細な現状を把握しきれていない。事業者の動向を分析する力が重要だと感じている。分析結果は計画にとらわれることなく、随時見直せるとよいのではないか。
- ・建設中の施設でトイレの部品に中国製品が使われていて、新型コロナの影響で供給されず施設の引き渡しがされないという事例もあり、世界のどこかの国が新型コロナの影響を受けると、日本経済もストップする印象を持った。
- ・プレミアム商品券発行事業、休業協力金の独自事業を実施した。長期化したら町独自で次に何をするか、商工会とも意見交換をしている。地元の事業者とどう連携すればよいのか悩ましい。企業とつながることができる施策を実施して欲しい。
- ・「反転攻勢に向けた需要喚起」で購入型クラウドファンディングを取り上げているが、収束後でなく三密を避けるためにも、今、実施すべき取組ではないか。

(地域の現状と県に求める施策について)

- ・地域産業の活性化については、水産業の振興にも力を入れて欲しい。農業・漁業の共同利用施設の老朽化が著しいため、こうした施設への支援も盛り込んで欲しい。
- ・観光施設の老朽化も課題であり、町としては、安全・安心・清潔な観光地としてのPRが必要と考えている。

(県に求める中小・小規模事業者への施策について)

- ・「モノづくり」、「中小・小規模企業」、「デジタル化」がそれぞれ並列に挙げられているが、「モノづくり」や「中小・小規模企業」のデジタル化に向けての施策をどうするかという整理が必要ではないか。
- ・中小・小規模企業にどう目を向けるか。彼らは、県や市町村からの情報提供やセミナーを受けることは、目の前のことで手一杯で難しい。また、大切な技術を持つが次第に続けられなくなり廃業する憂き目にあっている。どのように繋いでいくか、日本をリードする愛知県のモノづくりを支える中小・小規模企業への支援をお願いしたい。
- ・基盤施策である「中小・小規模事業者の持続的発展」と、6つの施策の間に格差を感じる。基盤施策のもう少し上のレベルで、事業者が取り組めることがないだろうか。また、「新しい生活様式」に対する小規模事業者への対応が遅れているため、改めて支援が必要である。そして、持っている技術は高いが、これからの次世代産業等にどう活かせるのか、専門家の支援が得られるような施策も必要ではないか。
- ・スタートアップ支援のサテライト拠点の誘致を考えている。「産業振興基本計画」を策定中であるが、商業、観光、工業、農業の4つの分野の連携による組織力の強化を目指すものとなっている。「農商工連携」と挙げられているが、ここに観光との連携を加えるとよいのではないか。県の事業などについて早めに情報提供をいただくと、政策化しやすいため助かる。

(その他)

- ・産業労働計画とは関係ないかもしれないが、経済活動と新型コロナの対策を両立するために、PCR検査を誰でも受けられるような形にすべきではないか。心配なら検査を受け、安心して日常生活を送れるようにして欲しい。
- ・外国人労働者の子供について、言葉の問題で授業が難しいと先生から聞くため、関連する話題として考えてもよいのではないか。

- ・別の商工会で次世代産業振興に従事していた頃、その町では新たなイノベーションの創出に向けた取組を進めていたが、見込みが立ちにくい状況であった。県の施策について、雇用問題も伴うものであり、自動車産業において色々な方向転換が必要とも言われるため、今後の展開が知りたい。
- ・遊休農地について、横串を入れて検討できないか。企業から工業用地の取得要望もあるため、用途変更などできるとよいのではないか。

(座長によるまとめ)

- ・計画の骨子では、対策と柱をはっきりと峻別しているが、今やらなければならないことと将来的な事に分けることにこだわらず、やれることからやればよいのではないか。
- ・分析を基にしたよい計画を作っても、企業に伝わらなければ意味がない。
- ・実施体制の検討について、計画に関わる体系立った分析の情報を自治体等にどう周知していくか、また、計画の趣旨や内容をどのように中小企業に周知していくかが大事である。さらに、中小企業の意見を聞く場について、春と秋のヒアリングや景況調査も記載してはどうか。
- ・景気対策と成長を目指す施策を分けてはどうか。
- ・中小企業のIT化とデジタル化について、すでに取り組んでいる部分もあると思うが、もう少し施策を入れてはどうか。
- ・土地の有効活用については市町村レベルでの対応は難しい。県が情報共有の場の提供を検討すべきではないか。
- ・PCR検査や外国人労働者とその家族の問題など、産業労働施策と直接関わりのない部分を計画に入れるかどうかは検討の余地はあるが、目標が「国際イノベーション都市づくり」であり、他分野とも関連してくる。そのため計画実施により波及する分野についても検討されてはいかかがか。